

# 平成 22 年度原子核工学専攻 I A E A 国際インターンシップ派遣学生公募案内

原子核工学専攻では、経済産業省原子力人材育成プログラムの一環として、原子力分野における国際的な組織での業務の企画・立案、提案・交渉、実施、報告、及び実施結果を基にした新たな課題の抽出などを行う国際的センスを身につけることを目的として、原子核工学専攻在籍の修士・博士学生を対象に国際原子力機関(IAEA)インターンシップ派遣を実施いたします。

派遣希望学生は、以下の応募書類を 6 月 2 日（水）（12：00 必着）までに提出してください。

## 派遣期間

2010 年 11 月 1 日－2011 年 1 月 30 日の約 3 ヶ月（予定、詳細は IAEA との調整後決定）

## 派遣学生

3 名。派遣学生には、IAEA 本部のあるウィーンへの往復旅費及び現地滞在費が支給されます。

## 応募書類

1. インターンシップ志望理由書
  - ① 氏名、②所属、③学年、④学内連絡先（E-mail、電話）、⑤自宅住所、⑥志望理由を A4 で 2 枚以内に記述（日本語）
2. インターンシップ企画書  
自ら IAEA でのインターンシップ内容を企画・立案し、
  - ・希望分野
  - ・希望するインターンシップ活動内容、について記述した企画書を作成。A4 で 1 枚以内。（日本語）
3. 卒業論文、修士論文あるいは最近の研究の概要：A4、1 枚程度（英語）
4. 留学経験あるいは外国滞在経験（もしあれば）：国名、滞在時期及び機関
5. 指導教員の同意書（コース室所属の M1 学生は暫定指導教員の同意書）（様式自由）
6. 保証人（家族）の承諾書（様式自由）
7. 最新の英語外部試験(TOEIC, TOEFL 等)のスコア（コピー可）
  - ・締め切り：6 月 2 日（水）12：00 必着
  - ・提出先：小原准教授室（北 1 号館 2 階 208 号室）

## 選考

書類審査及び面談により行います。

面談では、①自己紹介、②志望理由、③研究概要、④インターンシップ企画内容を英語で Power Point を用いて発表（発表時間 10 分）し、その後質疑応答を行います。面談は英語能力の確認を含みます。

面談は、6 月 4 日（金）17：30 から北 1 号館 1 階会議室で実施します。

## 選考結果の通知

選考結果は6月8日（火）に本人及び指導教員に連絡します。

## 報告書及び成果報告会

帰国後、インターンシップ報告書を提出してもらいます。また派遣成果報告会で成果を発表してもらいます。

## 第2回IAEAインターンシップ派遣説明会

下記日時場所で第2回IAEAインターンシップ派遣説明会を行います。インターンシップの概要の説明の他、昨年度派遣学生による体験談なども予定しています。興味のある学生は参加してください。

平成22年度原子核工学専攻 IAEA インターンシップ派遣説明会

日時：平成22年5月25日（火） 17:00～18:00

場所：北2号館5階輪講室

## 備考

インターンシップの具体的内容は、IAEAとの調整により決定されます。

派遣前及び派遣後に必要な手続きをとることにより、原子核工学専攻の国際インターンシップ科目の単位として認定されます。

### (参考)

・採用後の流れ

1. IAEA インターンシップ申込書提出。インターンシップ受入部署及びスーパーバイザーを決定。(6月～9月)
2. 宿の手配、航空機チケットの手配
3. スーパーバイザーにインターンシップの企画を提案・交渉し最終的なインターンシップ計画書を作成する。計画書は担当教員に提出。(9月～10月)
4. 国際インターンシップ単位の申請(9月)
5. 海外保険加入
6. IAEA に派遣。インターンシップ計画書に基づきインターンシップ実施。但し滞在中必要が生じた場合は、スーパーバイザーと協議の上計画書を変更し実施。(11月1日～1月30日(予定))
7. 帰国後、インターンシップ報告書の提出(専攻にも単位修得のための報告書を提出)、派遣成果報告会での成果発表。(報告会は2月予定)

報告書及び報告会での報告は、原子力分野における国際的な組織での業務の企画・立案、提案・交渉、実施、報告、及び実施結果を基にした新たな課題の抽出についての内容を含むものとします。担当教員が、報告書、報告会、スーパーバイザーからの評価レポートにより派遣成果の確認を行います。

問合せ先(担当教員): 小原 ([tobara@nr.titech.ac.jp](mailto:tobara@nr.titech.ac.jp)) 内線: 2380)